

女の一生

一九四五年の初演から、時を経て今



作・森本薫
補訂・演出・戌井市郎による
演出補・鶴山仁

赤司まり子
山本郁子
松山愛佳
前東美菜子
中原三桜里
松本祐華

石川武
大滝寛
今村俊一
鈴木弘秋
上川路啓志

上野璃子(交互出演)
福田真央(交互出演)

装置○中嶋正留
照明○古川幸夫
音響○秦大介
衣裳○中村洋一
舞台監督○黒木仁
演出助手○稲葉賀恵
制作○白田聡
宣伝美術○太田克己
宣伝写真○鶴田照夫

「女の一生」は文学座の財産演目

初代杉村春子さんから二代目平淑恵さんへ

三代目荘田由紀さんを経て、四代目山本郁子さんへ

女の一生

作●森本薫
補訂・演出●戌井市郎による
演出補●鶴山仁

誰が選んでくれたのでもない
自分で選んで歩きだした道ですもの。



石川 武



大滝 寛



赤司 まり子



山本 郁子



今村 俊一



鈴木 弘秋



松山 愛佳



前東 美菜子



上川 路啓志



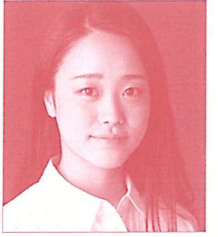
上野 璃子
(テアトルアカデミー)
交互出演



福田 真央
(テアトルアカデミー)
交互出演



中原 三桜里



松本 祐華

演鑑連の皆様へ
『女の一生』は文学座の財産演目です。戌井市郎の演出を鶴山仁が引き継ぐことでまた新たなページが開かれ、決して風化することなく時代に向き合える作品であると改めて実感いたしました。運営担当サークルの皆様をはじめ、全ての会員様と共にいつまでも心に残る例会を創ってゆきたいと思っております。

明治三十八年(一九〇五年)―日本がようやく近代的な資本主義国の姿をととのえはじめた時代。清国との貿易で一家をなした堤家に、天涯孤独の境涯にあった(布引けい)が不思議な縁から拾われる。しかしその堤家の当主はすでになく、後を継ぐべき息子たちもまだ若い。母である(へしず)が弟章介とともに困難な時代を生きていた。やがて時は流れ、(へけい)はその闊達な気性を見込まれ長男伸太郎の妻となる。だが伸太郎は家業を継ぐ意思と意欲に欠けていた。次男栄二に寄せた思慕は断ち切れ、(へけい)は真正正銘堤家の人となる。そして(へしず)にかわって家の支えとなり、柱となるのであった……。二つの大戦を経る激動の時代を生き、た女の一生。―それは激しくも、哀しい――。

装置=中嶋正留/照明=古川幸夫/音響=秦 大介/衣裳=中村洋一/舞台監督=黒木 仁/演出助手=稲葉賀恵/制作=白田 聡
宣伝美術=太田克己/宣伝写真=鶴田照夫

会員募集中!

倉敷演劇鑑賞会 2018年11・12月例会 (335回公演)

月日	12月2日(日)	3日(月)	4日(火)	9日(日)
開演	3時00分	6時30分	1時00分	3時00分
ところ	倉敷市芸文館			玉島文化センター

※児島11月18日(日) ※岡山12月17日(月)~23日(日・祝) ※西大寺12月10日(月)・11日(火)

会費

- 月額会費/ 一般 2,300円
学生 1,100円
- 入会金/ 1,200円

■お問い合わせ先
倉敷 086-424-6730
玉島 086-526-8027
※観劇日変更可 詳しくは各事務所へ

2019年 1・2月例会

劇団 文化座

三 婆

原作=有吉佐和子
脚本=小幡欣治
演出=西川信廣



阿部敦子 有賀ひろみ 佐々木愛

2月 9日(土) 3:30 玉島
10日(日) 6:30
11日(月) 2:00 倉敷
12日(火) 1:00